

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児聴覚障害		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年生		学期及び曜時間	後期 火曜1限木曜30言	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	矢部 洋子、三反田多香子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
主に先天性聴覚障害児について、発達段階に沿った聴力検査の方法、補聴器等の装用と聴能訓練の基礎知識を身につける。また療育や就学問題、家族の援助方法への理解を深める。						
《成績評価の方法と基準》						
期末試験にて60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(教科書)標準言語聴覚障害学「聴覚障害学第3版」 医学書院						
《授業外における学習方法》						
指定教科書の該当範囲を事前に読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
医学的知識から療育まで、広い視点をもって学んでいきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚の仕組みと発達過程、障害の分類を説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	聴覚のはたらき、聴覚の発達、聴覚障害の分類などを学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害リハビリテーションの変遷と現状を概説できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	聴覚障害のリハビリテーションの歴史と現状について理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児難聴における発達支援と回路形成の重要性を理解する。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションモードの違いについて、聴覚の発生～聴覚回路の形成について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種聴力検査(スクリーニング)の種類と目的を詳述できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	検査の種類、目的、実施時期、実施方法などについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	乳幼児聴力検査の手順と、関連する法制度を理解する。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習	
		各コマにおける授業予定	検査の種類、目的、実施時期、実施方法、法律について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	症例を通した診断・評価の具体的な流れを把握できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	症例を通して、診断・評価の流れを理解する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語評価の目的と種類、実施上の留意点を説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚障害児の言語評価の目的や種類、実施上の注意点などについて学ぶ		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	聴覚障害児が直面する生活場面や困難さを考察できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚障害の子供に関わる場面について学ぶ(支援の現場①)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「聞こえの相談」における支援者の役割を理解し説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聞こえの相談について学ぶ(支援の現場②)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	教育現場での4つの場と、具体的な指導内容を解説できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚障害教育の4つの場、聴覚学習、発音発語指導、自立活動等について学ぶ(支援の現場③)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会自立に向けた合理的配慮の具体例を提案できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	社会自立に向けて、合理的配慮について学ぶ(支援の現場④)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	聴覚活用や発音指導の具体的な支援技法を理解し説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	聴覚活用、発音指導について学ぶ(支援の現場⑤)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーション指導や絵日記指導の目的を説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	コミュニケーション指導、絵日記指導について学ぶ(支援の現場⑥)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	重複障害の特性と、社会福祉制度との関連を理解し説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	ダウン症候群、脳性麻痺、発達障害などと聴覚障害の合併について、聴覚障害と社会福祉について学ぶ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ANSDやAPDなどの特異的な聴覚障害を正しく説明できる。	PC, プロジェクター配布資料 教科書	教科書の該当箇所を読む 前回の復習
		各コマにおける授業予定	一側性難聴やオーディトリニューロパチースペクトラム(ANSD)、聴覚情報処理障害(APD)について学ぶ		